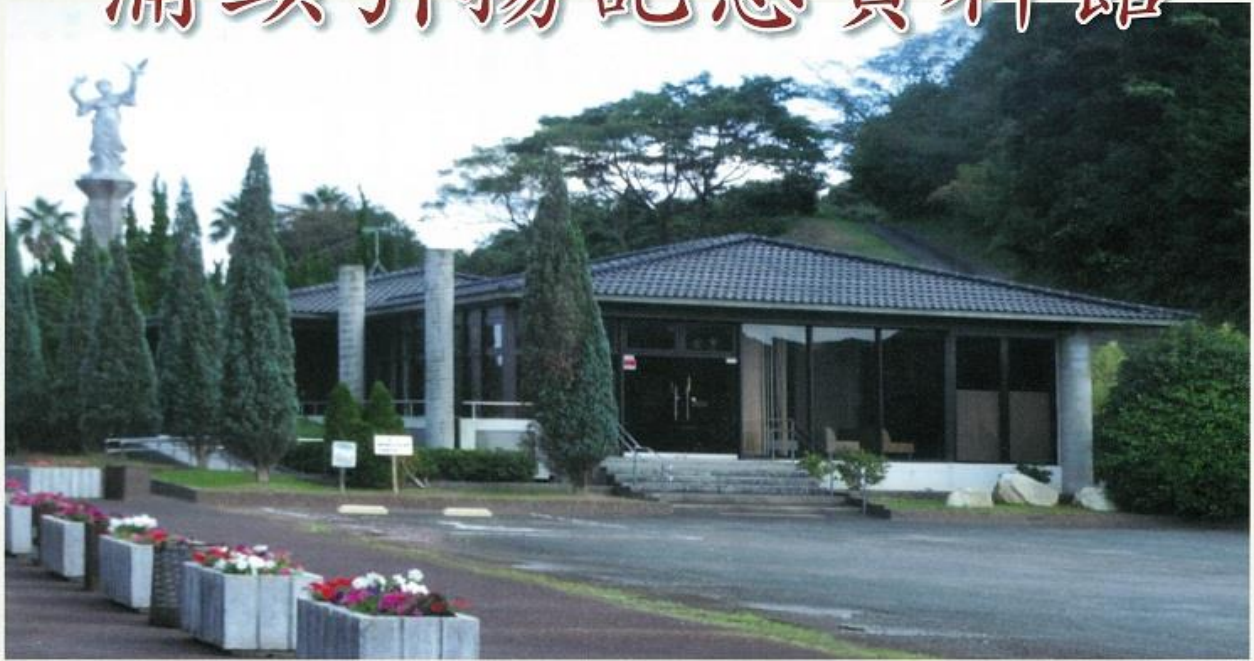


佐世保市

うら がしら

浦頭引揚記念資料館



【ご利用案内】

◆開館時間

9時～18時
(11月～3月は17時閉館)

◆休館日

12月30日～1月3日

◆入場無料

◆交通案内

早岐駅から車で15分
(約7.0km)
ハウステンボスから車で12分
(約5.6km)
針尾送信所から車で13分
(約5.7km)

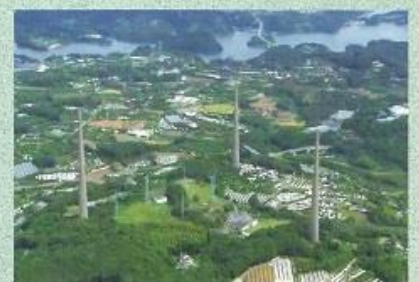
うらがしら
佐世保市浦頭引揚記念資料館

佐世保市針尾北町824番地
電話：0956-58-2561

佐世保市浦頭引揚記念資料館と周辺施設



釜墓地
生きて日本の地を踏めなかった人々が
眠る地



針尾送信所の無線塔
太平洋戦争開戦の暗号文「ニイタカヤマ
ノボレ1208」を送信したとも言われて
いる無線塔

浦頭引揚について

昭和20年8月15日太平洋戦争の終結に伴い、海外から約629万人の日本人が引揚げ、このうち佐世保引揚援護局があった浦頭には1,396,468人が上陸されました。

引揚者の多くは、栄養失調や下痢・皮膚病、敗戦の失意と迫害のために疲労困憊ひろうこんぱいの状況でした。さらには、無言の帰国をされた人、船内で病に倒れ、上陸直後に不帰の客とされた人々がありました。

引揚者は、上陸と同時に消毒のためDDTの散布を浴び、検疫後約7キロメートルの山道を歩き、佐世保引揚援護局までたどり着き、引揚手続きを終えると衣服や日用品の支給を受け、2・3泊後、南風崎駅からそれぞれの故郷へ向かわれました。

また、受け入れ側の引揚援護局は「引揚げる人の身になれ、この援護」を合言葉に引揚最盛期には不眠不休で活動されました。

浦頭引揚記念平和公園について

佐世保市は、当時の悲惨な引揚げの体験を後世に伝え、世界の恒久平和を願うこの引揚げの地を歴史的遺産として永遠に残すために、元検疫所跡地を見下ろす場所に引揚記念平和公園を建設しました。建設には、引揚者を含む全国からの寄付金も含まれています。



引揚第一歩の地と「かえり船」の歌碑



引揚第一歩の地



「かえり船」の歌碑

浦頭引揚記念資料館のご案内



引揚者が使用した柳行李や日用品、引揚船の模型を展示しています



浦頭引揚の資料DVDを常時上映しています



検疫所で使用したガーゼ等医療に使用した用具



展示室内には、浦頭周辺の大ジオラマや引揚に関する写真等を展示しています